

サポートファイルの活用について

■開発の目的と活用方法

医療的ケアを必要としている方やそのご家族が地域で安心して過ごしていけるよう、医療・福祉のどんなサポーターに出会っても、一貫した安心できる支援が実現し、また関わるサポーターそれぞれが連携したチーム支援を行っていくための情報共有および連携ツールとして作成しました。医療機関をはじめ退院するタイミングからの活用をお勧めします。

ご協力のお願い

■本人・ご家族へ



このサポートファイルは医療的ケアを必要とされている方及びご家族に配布させて頂いています。ご家族の記入を基本としていますが、それぞれ関わっている医療・福祉・保健の専門職の方々の協力のもと作成をお願い致します。地域で暮らす際に新たに関われる支援機関の方々と、ご本人の正確な医療的ケア内容を中心とした情報を共有し、地域で安全に暮らしていくことができるよう活用して頂ければ幸いです。

また、このファイルは医療機関を退院後、地域で医療や福祉のサービスを受ける際（健診の機会／医療機関の受診時／福祉サービス事業所等を利用開始する時など）に、本人ご家族が持ち歩いて頂く事をご提案させて頂いています。

《こんなメリットがあります》

- ・関わっている機関を皆に知ってもらうことで、それぞれの連携が生まれる。
- ・いろんな人に出会ったときに、必要な情報がもれなく伝えられる。
- ・医療情報をはじめとした本人さん情報がまとまっている事で、かかりつけ医以外での診察もスムーズになる。
- ・医療的ケアの内容や生活の中での細かなサポート方法を関わる皆が共有でき、統一したサポートが実現する。
- ・ご本人の「好きな事」「苦手な事」などを記載することで、関わる皆さんが本人さんの気持ちをより知ることができる。

■関係機関の方へ



ご本人ご家族にかかわっておられる支援機関の皆様におかれましては、A～Iのシートに目を通していただき、可能な限り記載のご協力をお願いするとともに、医療的ケア情報をはじめとする多くの支援情報等を確認しながら多職種が連携したチーム支援が実現する様、活用のご協力をお願い致します。

《こんなメリットがあります》

- ・デリケートな支援を行う際に、正確な医療情報があることで安心してケアができる。
- ・夜間を含めた1日の流れを知る事で、緊急時・災害時に日中事業所が備えておくべき事がわかる。
- ・医療的ケア内容や、生活の中での細かなサポート方法を関わる皆が共有でき、どんな支援機関がかかわっても、同じ水準での支援が実現する。

ファイルの種類（A～Fシートは優先的に作成しておきましょう）

- A 関係機関リスト
- B 本人の情報
- C-① 1日の流れ（自宅）
- ② 1日の流れ（学校・施設など）
- D 医療的ケア等の状況・急変時対応方針
- E 内服等 ※お薬手帳のコピー貼付
- F-① 緊急時連絡表
- ② 災害時個別避難計画書
- G 生育歴・健診状況（児童用）
- H 総合的なアセスメント（児童用）
- I 医療的ケアに関する指示書



※入院中のリハビリの実施内容など、ファイル内に差し込んでください。

※「災害時個別避難計画書」は、三重県小児科医会「災害時対応マニュアル」「災害時対応ノート」を参考にしながら作成されることをお勧めします。